

鼓童



新作「神秘」

- トピックス アマテラス幻想
- 特集 鼓童文化財団研修所 2013
- 鼓童情報発信リニューアルのお知らせ

アミューズメント佐渡にて公演の初日を迎えました。(写真:岡本隆史)

今年も1年の締めくくりは鼓童で。

鼓童通信

2013年10月～11月

KANAMARUZA 金丸座

十／三一～十一／十 坂東玉三郎特別公演
演 香川・琴平町

香川県の金丸座において「坂東玉三郎特別公演」に出演させていただきました。からっとした秋晴れが続く中、毎日金比羅参りをする者、お気に入りのうどん屋さんをみつつける者、温泉で癒される者。賑やかな観光地での約二週間をそれぞれの過ごし方で楽しんでいました。

金丸座は江戸時代から伝わる木造の芝居小屋で、太鼓の音がダイレクトにお客様に届きます。小さい音は勿論、大きい音も意識的にコントロールすることによって曲に心地よさ、躍動感などの新しい表現が生まれるということを体感出来ました。これから取り組む舞台にもつながる公演期間となりました。

(報告：小見麻梨子)

※四ページのトピックスもご覧ください。

ONE EARTH TOUR ワン・アース・ツアー「神秘」

十一月 鼓童村 舞台稽古

金丸座での公演を終え、鼓童村に帰着いた翌日には「神秘」の稽古が始まりました。昨年の今頃から取り組んで来た「神秘」は、アマテラス公演の合間をぬって、少しずつ各々で稽古を行い作り上げてきました。これまで点でしかなかった曲や内容が、玉三郎さんとの稽古を通して線に変わって行く…。毎日、追いつかない課題に格闘しながらも、一つの公演

が出来上がって行く時の熱をメンバー同士お互いに感じることができました。

十一／二三 「神秘」公演初日 佐渡市

「神秘」公演の初日をホームグラウンドである佐渡で迎えることができ、また最初に地元の皆さんにお見せすることに嬉しかったです。本番直前まで舞台の直しを行い、タイミングを確認し、良い緊張感を保ちつつ、あとはなるようになれと身を任せました。

公演を振り返って思うのは、あつという間であったということ。それでも、終わった瞬間の大きくて温かい拍手はとても心地よく、「良かったぞー！」の言葉に励まされました。客席に見えた「ツアー頑張ってください」の文字に後押しされ、私たちは旅に出ます。(報告：花岡哲海)

SOLO ACTIVITY ソロ・小編成活動

十一／十五 小島千絵子・齊藤栄一

「日中韓文化交流フォーラム」佐渡市

日本、中国、韓国の元政府高官や文化人からなる国際フォーラム。日本からは、文化財保護・芸術研究助成財団と国際交流基金の方々が参加。「地域文化の振興と国際交流の促進」をテーマに、国内開催は今回で三回目となります。文化財保護・芸術研究助成財団理事長で東京藝術大学学長でもある宮田亮平さんの故郷・佐渡での交流イベント、その晚餐会にお招きいただき鼓童の演奏を行いました。会場いっぱい響き渡る「花八丈」や「大

太鼓」に、日本・中国・韓国の交流団はとて熱心に聴き入り、たいへん喜んでくださいました。(報告：山中津久美)

十一／十六 六波羅蜜寺開山壹仟五拾年
記念法要 奉納舞 京都市

開山一〇五〇年を迎えた同寺は、空也上人像や平家ゆかりのお寺として有名です。また、玉三郎さんが歌舞伎で演じられる「阿古屋」を弔う塚が祀られており、そのようなご縁から奉納演奏に出演させていただきました。一五〇〇人の参拝者が集まる中、本堂、境内に吉利、充の「神祇の太鼓」が鳴り響き、「いぶき」に合わせた神々しい玉三郎さんの舞に、秋の京都の空がより一層、晴れやかに感じられました。(報告：船橋裕一郎)

十一／十八 山口幹文 竹俣小学校閉校
記念コンサート 新潟・新発田市

当日は準備に三時間半という慌ただしい中、長年お世話になっていた新発田の皆さんのお陰で、滞り無く公演を始めることができました。チェンバロ奏者の佐藤世子さんと、閉校記念に合わせ「赤とんぼ」「七つの子」「砂山」といった曲にも取り組みました。窓越しに見える暮れ行く田園風景と、懐かしいような哀しいような童謡の旋律を追う内に、先生に叱られた思い出しかない十数年の学校生活が、無性に懐かしく感じられました。ご来場のお客様、実行委員とお手伝いの皆様、本当にありがとうございました。

(報告：山口幹文)



十一／二三 「神秘」公演では坂本雅幸作曲「Color(カラー)」に女性メンバーが加わり熱演。(写真：岡本隆史)

ON SADO ISLAND

佐渡

十一／十九 藤本容子「音を楽しむ」ワークショップ 佐渡市

身体や言語に軽度の障害を持つ方との初めてのワークショップ。やはり声を出すことは感情の発露となり、コミュニケーションの力も促すようで、皆さん、最初は硬かった表情もだんだん和やかになり、そのうち身体もつてきて、「体が軽く、気持ちもふわふわになった。」と言っていただけでした。

三つのグループに分かれ、かけ声や拍手を組み合わせた中で歌った童謡や歌謡曲、民謡は、もう圧巻の楽しさ！最後には、「佐渡おけさ」で皆さんに歌い、踊っていただけ、杖をつきながらの方も、車椅子の方も入り交じって踊る様は、それは素晴らしい情景でした。素敵な体験をさせていただき、今後に向けて、こういった社会活動への自分の世界の広がりがとても楽しみにになりました。

(報告：藤本容子)

十一／二三、二四 「小木地区文化祭」刺し子展示 佐渡市

佐渡市公民館講座「平成佐渡の刺し子講座」作品発表会を、小木地区文化祭で行いました。昨年に引き続き刺し子講座の講師を務め、全八回に今年は十一名の生徒さんが受講してくださいました。

みなさん熱心でほぼ全日程出席。小さくても一つの物を作り上げると達成感があり次への意欲につながるようです。「見た目は複雑だけど刺し方は単純ですよ。」という「エエッ。わからん」という声が毎回あがります。私の方もどう説明したら理解してもらえるか、試作をして臨んでいます。生徒さんとのやり取りでも成長させてもらっています。今年も講座と作品展示が無事に終了し、ほっとしています。

(報告：大井キヨ子)

MEMBER NEWS
メンバー短信

広報宣伝と機関誌編集に携わってまいりました洲崎純子が、十二月末をもって鼓童を離れることになりました。長年お世話になった皆様に感謝申し上げます。



十一／二八 前田剛史が演出する交流公演の最終通し稽古の様子。十二月にツアーを行うのは初めて。(写真：上田恵里花)

サロちゃん See you! vol.108

なな! 108号にて最終回!

除夜の鐘も108ツ!

皆様、長い間のご愛読ありがとうございました。

...という訳で相も変わらぬサロちゃん。またいつかでお会いしましょう!!!

作：宮崎正美

鼓童村の四季

新米の実りを祝い鬼を打つ 龍馬

研修所「秋の俳句講座」を十一月二日に実施しました。稲刈りも済んだということで、今回は久しぶりに二年生も全員参加の十七名です。一年生の作品から見えていきましょう。

歌声を捧げみんなで稲を刈る 友恵

稽古場にドンと一発秋の音 水木

豊作の黄金の束を担いでく 京

稔り田を前に祈願の鬼太鼓 佑樹

唄うたう肩に來ている赤とんぼ 将也

秋祭り命燃やして山車を引く 豊

秋色にまるごと染まる佐渡島 遠太郎

時期外れ三線ポロンと秋の風 玲央

秋の雲流れる先の故郷かな 龍和

台風で飛ばされそうな研修所 遥

雷が轟き山にこだまする 勇渡

食の秋海山の幸食べ尽くせ 幸生

研修所の様子や研修生の日常が目に見えるようです。私はこの中から友恵さんと水木さんの作品を選ばれました。稲を刈る前の厳肅な雰囲気と、感謝の気持ちを表現した友恵さんの作品。太鼓の練習が始まる合図で「秋の音」が詩的で新鮮な水木さんの作品。霧の中走ることから今日始まる 亮輔

さわやかな風に吹かれる練習着 健吾

秋の雨空を見つめて明日祈る 俊一郎

金木犀どこからか風運びけり 直弥

二年生では掲出の龍馬君の作品を選ばれましたが、この句は全員の互選でも最高点でした。友恵さんや佑樹君も同じ現場を詠んだのですが、豊作の喜びを体中で表現したのが良かったです。

研修生の俳句は色紙に書かれ、研修所の収穫祭に展示され好評でした。

(赤塚五行 鼓童文化財団研修所講師)

「アマテラス幻想」

旧金比羅大芝居(金丸座)での坂東玉三郎特別公演に出演

「アマテラス」から「アマテラス幻想」まで、芸術監督でもある坂東玉三郎氏と共演させていただいたこの半年を、鼓童のパートを構成した齊藤栄一が振り返りました。

構成●後藤美奈子、写真●岡本隆史(提供:松竹株式会社)



昨年引き続き出演させていただいた旧金比羅大芝居(金丸座)での特別公演。二部は「アマテラス幻想」というタイトルで玉三郎氏と鼓童が共演させていただきました。二部の構成を担当した齊藤栄一に話を聞いてみました。

金丸座の印象

僕は初めての金丸座だったんです。金丸座は本当に音のよい芝居小屋で、繊細な音もしっかりと聞こえる。セリフや弦楽器の演奏をナマで伝えるための造りがあるんですね。連日満席のお客様に囲まれ、先人の息吹を感じながら舞台に立てたことは貴重な経験でした。町並みや金比羅宮の参道の雰囲気もよく、一三六八段の階段を上って奥社まで参拝するのが毎朝の日課でした。

構成にあたって

昨年とは違って、今年は既に「アマテラス」でずっと一緒にさせていただいている中での玉三郎さんとの共演。ここまでの実績があるので短くまとめることに大きな苦労はなかったです。「アマテラス」をご覧いただいた方には、アマテラスを思い出していただけのような、ご覧いただけない方にもそれが想像できるようなものができればと思って構成しました。

若手の成長と課題

「アマテラス」から「アマテラス幻想」

南座の公演終了から金丸座の初日まで短い時間でメンバーはよく切り替えたなと思います。合流組の小松崎正吾も面を

つけてアミノウズメ役をさせていただけました。

僕は七月の東京公演以来の合流でしたが、玉三郎さんからの要求や指導に応えることを日々繰り返した彼らの成長は本当に目覚ましい。舞台上の経験だけではなく、アマテラスの期間中から、皆で玉三郎さんから直々に発声のご指導をいただいたりと、日々学びの連続で遅くなりましたね。

とにかく、トータルで三ヶ月間という連続公演は、鼓童が経験したことのない世界。良くも悪くも連続公演は慣れてしまうので、いかにして新鮮な気持ちを保てるか、というのは演奏者として大きな課題。今回は若いメンバーが多い中、玉三郎さんが上手にみんなを導いてくださったからこそ、と思います。

メンバー達は「アマテラス」という舞台を体験して、表現力をつける、という課題が明確になったと思います。技術は勿論ですが、上手なだけでない、表情豊かとか、感情のある音を出せること。ここで欲しい音、出したい音、みんなの共通理解になれば、舞台がもっともつと深みを増していけるので年齢や経験に関係なくこだわって欲しいですね。

「伝説」から「アマテラス」を経て、「神秘」へ。彼らの変化も成長も楽しみです。

僕もまだまだ負けてられないですよ。

(十一月十九日 鼓童村にて)



DATA 「坂東玉三郎特別公演」

日程 10月31日(木)~10日(日) 計11回公演
会場 旧金比羅大芝居(金丸座) 香川県琴平町
プログラム 第一部/鉤簾(こす)の戸 由縁(ゆかり)の月
第二部/アマテラス幻想
出演 坂東玉三郎、富山清琴(三絃、唄)、富山清仁(箏)、
鼓童(齊藤栄一、辻勝、阿部研三、坂本雅幸、
内田依利、小見麻梨子、小松崎正吾、荻輪真弥、
安藤明子、井上陽介、住吉佑太、花岡哲海、
漆久保晃佑、地代純、三浦康暉)
主催 琴平町/「四国こんぴら歌舞伎大芝居」推進協議会

特集

鼓童文化財団研修所 2013



くらす・まなぶ・つくる 様々な稽古・研修・生活

毎日の生活の中での料理、季節毎の農作業、講義や茶道、陶芸などのもの作り。研修所でのカリキュラムは、太鼓や踊りなど様々な芸能の根っこに近づくために、自分達の心身を耕してゆく取り組みです。



■ 太鼓・踊り・唄・笛の稽古

太鼓をたたく前に、バチを作り、締め太鼓の締め上げ(音のチューニング)を覚え、太鼓の基本的な打法を段階を追って学びます。曲としては「屋台囃子」「三宅」「大太鼓」「八丈太鼓」「千里馬」「巴」など様々なスタイルの太鼓を稽古します。

踊りでは「鬼太鼓」「剣舞」「さんさ」「西馬音内盆踊り」など全国各地の様々な芸能を学びます。

唄の稽古では、発声・音程・リズムなどの基本から作曲や合唱まで声を用いた表現、笛の稽古では、一年目に基礎的な音の出し方、二年目は選択制で応用的な内容を学びます。また、箏や胡弓、三味線などの楽器にも希望選択制で取り組みます。

■ 能・狂言・茶道・講義など

能・狂言では、基本となる謡の稽古を中心に行います。本物の能舞台での稽古や、佐渡の能楽愛好者のみなさんの発表会へも参加します。また茶道(真千家)では、一年目に盆略点前、二年目からは選択制で薄茶点前(炉)まで学び、収穫祭で最終発表の茶席を催します。

講師の先生方による佐渡の歴史や自然に関する講義があり、また俳句は季節ごとに吟行をします。地元の方から山菜採りやわら草履作り、魚の捌き方や陶芸などの生活の知恵を教えて頂く時間もあります。造形は、入所してすぐ、伐り出した一本の竹からそれぞれの箸を作ることから始め、その後、バチ作りなどに取り組みます。

■ 農作業(田圃・畑・柿)

農作業は無農薬・有機栽培で、大部分は手作業で取り組みます。それぞれの季節を感じながら、稽古の合間をぬって天気と相談しながら行います。

田んぼは合わせて三反余り(50mプール三つ分くらい)の広さで、研修生の食事約4ヶ月分をまかないます。畑では季節の野菜を作り、また鼓童の会の会員の皆様に送る柿については、地元の方から教わりながら月1回の作業に取り組んでいます。11月には、日頃お世話になっている皆さんを研修所にお招きして「収穫祭」を開きます。米、柿、サツマイモなど、自分達で作った食材で料理を作り、演奏をし、おもてなしします。



■ くらし

昔の中学校の木造校舎を生活と稽古の場とし、日々のくらしを自らの手で作っていきます。

食事作り、掃除、洗濯、そして共同で使う物の管理など、生活に関わるさまざまな役割を分担して生活技術を学びます。日ごとのリーダーは日直がつとめ、稽古の進行や各種連絡等を責任を持って行います。

様々な場所から、様々な年齢の、様々な人が、熱い思いを持って集まって来る研修所。その中で自分の考えを人に伝え、また人の考えを受け取って、ものごとを前に進めていきます。研修所での共同生活は、人と人のつながりの中で生きていく力をつける大切な学びの要素と位置づけています。

■ 実地研修

「アース・セレブレーション」「鉾山祭」「鼓童十二月公演」など佐渡島内で行われる公演やイベントの、舞台設営や楽器の搬入搬出、警備、受付、会場案内など、準備段階から当日までの現場を体験し、スタッフワークを学びます。

研修所で開催する「鼓童塾」などのワークショップの手伝いや、また島内の中学校を訪れて行う「交流公演」では、研修生が実際に演奏したり、お話ししたりする機会もあります。

2012年より、宿根木公会堂を会場とする「鼓童佐渡特別公演」に2年生が参加。ベテランメンバーに教えられながら、一般のお客様の前で連日、実践的に学びます。

■ 祭りへの参加

佐渡では集落ごとに神社の祭りがあり「鬼太鼓」という芸能が盛んです。研修生は地元の祭りに受け入れていただき、生活の中の祈りから生まれた芸能を肌で感じていきます。

4月、2年生は柿野浦の祭りに参加。鬼役、太鼓役に選ばれ、集落の一員となるこの日の体験は、研修生にとって無上の喜びです。また9月には1年生が岩首の祭りに参加し、芸に対する熱い思いや、地域の絆の深まりに触れます。これら研修所の地元の祭りには毎年、島を離れた卒業生の誰かが心の故郷として帰ってきます。

夏には鼓童の本拠地、小木地区の祭りに参加させていただき、小木の方々との親交を深めます。



鼓童村での稽古・舞台メンバーとの合同稽古は実践の空気を含みとる貴重な時間。



朝のトレーニング：早歩きや30分間走、ダッシュなど、日ごとメニューをかえて行なう。



掃除：毎朝、体育館と廊下を雑巾がけ。トレーニング前に体を目覚めさせる目的もある。



料理：食事当番2人で約20人分の食事作り。短時間でおいしいものを。段取りが命。

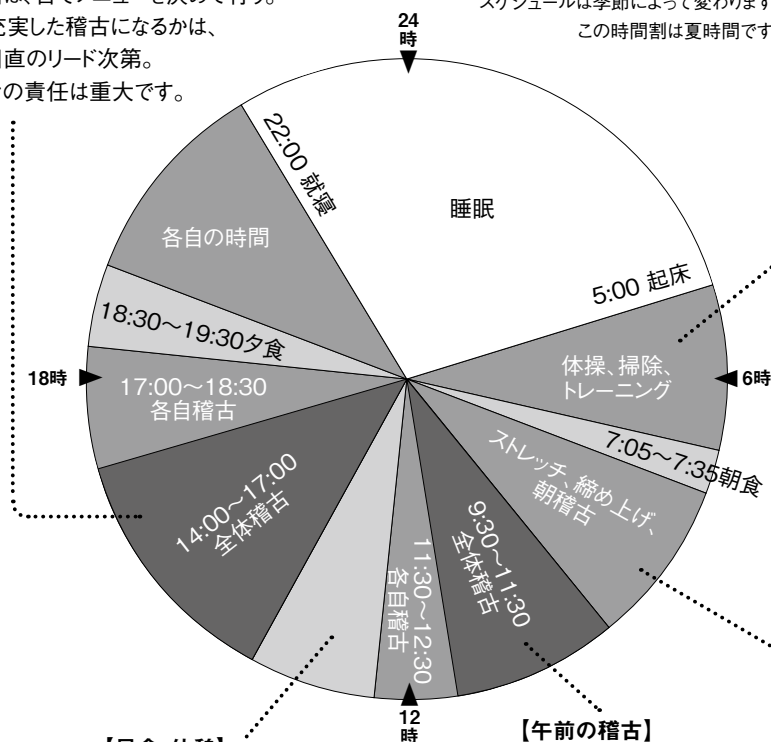


研修所の一日

スケジュールは季節によって変わります。この時間割は夏時間です。

【午後の稽古】

研修生だけの自主稽古の日は、皆でメニューを決めて行く。充実した稽古になるかは、日直のリード次第。その責任は重大です。



【昼食・休憩】

食事の片付けの後は、束の間自室に戻ってそれぞれの時間を過ごす。その後、午後の稽古の準備に。

【午前の稽古】

稽古の時間は太鼓や踊り、唄などの他に、農作業や造形、講義の時間も。年間およそ2/3が太鼓や踊りなどの時間、残りの1/3がそれ以外の時間に充てられる。



研修所での稽古：体育館で太鼓、理科室（第一稽古場）で踊りや唄、笛の稽古など、二年生交替で使う。



締め上げ：ほぼ毎日の日課でもある準備作業。それぞれの太鼓に愛称がつけられている。

心の根っこに触れる唄

藤本容子



様々な先生方の導きにより、唄が好きになる研修生。近隣の松ヶ崎中学校の生徒さんと一緒に作った「友情ソング」は、毎年の交流会で歌い継がれている。



鼓童の研修生が、太鼓が好きで入って来るといのは当然のことですが、唄が好きという人は少なく、どちらかというと苦手な人の方が多いのです。ですので、私の研修所で一番の役目というのは、そんな研修生達の全員が、歌うことを好きになるまで持つていくことです。そのまず始めは、上手下手の以前に、唄は人間の深い感情の中から、自ずと湧き上がってくるものなのだということ。これは、上達することを目指す上においても、基盤になる必然です。

私は、どんなに文化や宗教や国籍が違って、人間として相通じる心の根っこというものがあると思っています。そこから湧き上がってきた唄は、どこで誰が聞いても心に染みてきます。言葉が分からなくても励まされたり、理屈を超えてグーツと心の深いところに響いて癒されたり、懐かしい気持ちになつたり……。そんな私達人間の生まれてきた源に触れられるような素晴らしい唄を、たくさん探して、分かち合いたい。そして、そのことを集中して研修生に伝えられるのが、年に二度、寒くて寂しい冬の時期に行う二日間の「ヴォイスサークル」です。自分のこれ

までの出会いの中で心の根っこに触れた、アイヌやアメリカ、ハワイ、マウイ、台湾などのネイティブの方々の唄を紹介しながら、自由発声などにも取り組み、豊かな唄と声の世界を皆で体感し、それによつて引き出された研修生達の思わぬ二面に、私も驚き楽しみ共に喜びを感じています。

六年ほど前から、声の力を引き出すことと、日本の唄の音階の基礎、日本語を丁寧にに語ることを学ぶ為に取り入れている『ひふみ祝詞』という曲があります。この唄の真意は、「私達人ひとりはこの世に生まれて成すべきことがあり、成したいことがあり、その力を授かつて生まれてきた。だから私達はこの世にある限り、その願いと夢と力を自分の中から汲みだして生き生きと生ききろう」というものだそうです。どんな事態が来ても、それに正面から向き合い、一歩踏み出して越えて行く気力、体力、魂力が培

われることが研修所の第目標。私はそれにプラス、情感力を育てることを上げたいと思います。情感とは、自分だけでなく相手をを思うことです。周囲、世界、自然界の情をどう受け取り、返すかということです。この力は唄と切っても切り離すことはできません。情感は声の音色にそのまま表れ、その人の今の存在全体を伝えてくれるからです。

この二年間の研修所生活をどう生ききるか。それがその後の人生を創る大きな基盤になります。日々、悩みや戸惑いが訪れようとも、『ひふみ祝詞』の歌詞を思い出して、自分の中には願いとそれを果たす力があるのだと、今はそこに向かう為の一歩なんだと、自らを信じ励ましてゆけるよう、願つてやみません。

※研修所の唄のカリキュラムについては、外部講師として岡田京子先生、伊藤多喜雄先生、野上結美先生にもご指導いただいています。

2013年 研修所講師の先生方 (敬称略)

- 福嶋徹夫 [講義] 元・新潟県栽培漁業センター所長
- 桃井宗生 [茶道] 裏千家学校茶道教授
- 松永政雄 [能] 宝生流教授囑託・幸清流小鼓準職分
- 金城光枝 [琉球舞踊] 琉球舞踊家・太圭流華の会師範
- 岡田京子 [歌] 作曲家
- 伊藤多喜雄 [唄] 民謡歌手
- 野上結美 [ヴォイストレーニング] 声楽家
- 赤塚五行 [俳句] 新潟日報佐渡版俳句選者
- 葛原正巳 [陶芸]
- 岩崎ちひろ [魚のさばき方] 魚屋
- 松田祐樹 [講義] 佐渡の芸能研究者
- 狩野泰一 [笛] 篠笛奏者
- 金子竜太郎 [太鼓など] 和太鼓奏者

鼓童メンバー講師

- 藤本吉利、小島千絵子、藤本容子、大井キヨ子、
- 山口幹文、齊藤栄一、見留知弘、辻勝、
- 船橋裕一郎、石塚充、小田洋介、
- 菅野敦司、本間康子、千田倫子、石原泰彦、
- 後藤美奈子、土橋達也

二年生



三二期生

渡辺健吾わたなべけんご

研修所生活を振り返ってみると、本当にあつという間に時間が過ぎていっているのだなあ、と感じます。去年の四月に入所してから、もう一年半が経ってしまいました。「何したっけ??」と、研修所生活が濃すぎて思い出し切れない程いろいろなことがあったなーと思います。全部書こうとすると長くなるので書けません、とにかく三二期生で良かったです。研修所初の男だけの期。暑苦しいですね。八人乗りの車にぎゅうぎゅう詰めになつて座つたり、全員上半身裸で稽古をしたり。あと二ヶ月の辛抱。でも何だかんだ楽しい。

しかし、僕は一度、研修所を辞めたいとみんなに口にしたことがあります。僕は夢を捨てようと思いました。他のみんなよりも出来ないことが多く、稽古で足を引つ張つていたので、「僕は居ない方がいいんじゃないか」と思ったからです。でも、みんなが部屋まで来て、応援してくれたり、怒ってくれたり、みんなの気持ちを聞かせてくれたりしたおかげで、今も太鼓を打っている自分がいます。三二期で本当に良



かつたです。みんなありがとう。

あと二ヶ月……。自分はどれくらい成長したのかとか、あの時もつともつと頑張れた自分が居たのではないかと、とか、もったいない時間を過ごしてしまつていたこともあるなーと、正直後悔しています。その分を取り返すつもりで、さらにその倍をやるつもりで、あと少ない残りの時間を過ごしていきたいです。

音

岩井直弥いわたななおや

私が太鼓を始めたきっかけは、小学生の頃、たまたま地元で同年代の子達の太鼓の演奏を聴いたことでした。ぼーっと立ち尽くしたまま観ていて、格好良いとか、技術が凄いとかがじゃなく、素直で、真っ直ぐな音だな、と小学生ながら感じたのと、太鼓の音がドーンと身体全身に響いて、ウズウズすると言うか、その音が好きになつて、自分もやってみたくなりました。

研修所に来ての今現在、あの時の素直で真っ直ぐな音を出したいと思つていますが、現実には難しい。舞台上立つという事は、お客様の心を揺さぶり、舞台上に夢を感じてもらふ事。それには格好良さや個性も大事だし、技術も、あれもこれも必要。素直な音とはどこから生まれるんだらう、理想と自分の現実の間で今、葛藤しています。

私は喜怒哀楽が表に出づらく、よく「怒ってる?」とか「楽しい?」とか、太鼓を叩いていても講師の方達に「本気で、全



佐渡の中学校交流公演に向けての、演目稽古。ひたすら大太鼓を打ち込む。



10月の鼓童塾最終日。濃い5日間を共にした19名の塾生さんを、バスが見えなくなるまで見送った後。演奏をやめることのできない研修生。

正直な話、研修所に来ることが決まった時、まさか自分が研修生活を二年間やり通せるとは思っていなかった。よっしゃ、行くからには頑張るぞと思いつつも、どうせ一年もしないうちにキツくて嫌になって逃げ出すんだろうな、とも思っていた。僕は、辛いことや面倒臭い事が大嫌いだ。研修所に来るまでは、嫌な事からとにかく逃げていた。だって嫌な事頑張っても、それにメリットがあると思えなかつたから。け

変わるモンだ

鶴見龍馬



力で叩いてるか？」と言われます。私の中には、皆と同じくらいやっているのに、観ている人には全然伝わらない。何で？ 本当に悔しい。苛々するし、そんな自分も憎い。これでもまだ、自分を制御している自分がいるということなんだろう。だったら、そんなものブチ破って、今は格好とか技術なんか気にしないで、感情剥き出しで、何も考えず、打って打って打ち込んで、血が出るまで、やってやりますよ。その先に私が求める音があると信じて…。



れど研修所に来て、逃げ道なんてなくなつた。辛くても、嫌でも頑張る。ただそれだけ。やめようと思えばいつでもやめられるし、何度もやめてやろうと思っただけど、そんな時、なぜか途中でやめるなんてカッコ悪っ！ て思える自分がいた。

人って変わるものなんだなあ。高校生のままの僕だったら、絶対やめていた。いつの間にか自分の中にプライドっていうか意地みたいなものができて、毎日グチグチ文句言いながらも、ここまで何とかやって来れた。僕がこんな風に変われた一番の理由は、ここまで一緒にやってきた同期のおかげだと思う。人と比べて自分だけ劣っていて才能ないのかな、なんて思っていた。自分だけキツイんだと思っていた。でもお風呂なんかでしみじみ話してみると、みんなもそれぞれに悩んでいる。僕だけじゃない、みんなキツくても必死で頑張っているんだ。そんな同期がいたからこそ、僕も一緒に今まで頑張ってきたから。この先、僕の人生どうなるか全然分からないけれど、こんな仲間もいることだし、ここまでと一緒に、まあなるようになるっしょ！

僕は研修所に来てから数回だけですが、素の自分に出会うことができました。それはどんな時かというと、大体がしんどい時です。普段は強がって見栄張って生かしていても、どうしても素が出てしまう時。研修所に来るまでは無かつたことです。ここでは表の顔だけじゃ生きていけず、表も裏もすべて出てしまいます。

その中でも、一番しんどかつた時期は、二年生の特別公演期間でした。本番中にバチを飛ばしてしまつたことから一気に崩れ、常に考え事をしながら舞台上に立っていました。本当に申し訳なくて周りの方にも迷惑をかけました。けれど、そんな時に声をかけて下さったスタッフやメンバーの方々、そして同期の仲間。特にいつも近くで見下さっている方からの、全てを見抜かれた「どうですか調子は？」というひと言に、自分が最後まで隠していた部分全てが表に出て来て、感覚的にはギリギリ立っていたものがぐくだけ散つた感じで



もうひとりの俺

神谷俊一郎



佐渡特別公演終演時の送り太鼓。ベテランメンバーに導かれ、連日お客様の前に立つ。



収穫祭のお茶席。2年間の茶道の最終発表の場。しつらえや、茶碗、茶杓、お菓子、花入れなど、自作に挑戦。

佐渡には沢山の芸能があり、特に集落の祭りの中で芸能が生きています。皆さんは、佐渡の鬼太鼓というものを聞いたことはありませんか？

僕は研修生になって佐渡に来て初めて鬼太鼓に出会いました。祭りのならし(練習期間)から稽古に参加させて頂いて、稽古が終われば反省会。そこで地元の人達の鬼に対する熱い思いを聞いて、何故そこまで熱いのかとその時は思っていました。

迎えた祭り当日、朝五時の太鼓の打ち出しから、鬼打ち(鬼を踊る)の二人は鬼を打ち、祭りは夜遅くまで続きます。祭りが進むと鬼は一人で歩けなくなるほどにポロポロになります。僕は肩を貸しながら面の下からもれる苦しそうな息遣いを聞き、

鬼打ち

稲田亮輔
いなだりょうすけ

した。けれどそこから一から考え直し、何とか千秋楽には立ち直ることができました。パチを飛ばしてから出会うことになった弱い自分を最初は受け入れられず、もがいた日々も、今となってはそれも自分自身、と受け止められるようになってつづります。二年かけてようやく出会えたもうひとりの俺を、これからも大切に育んでいきたいと思えます。

残り二ヶ月ですが、支えて下さった全ての方の顔を思い浮かべながら、ゴールまで突っ走っていきます。皆さんありがとう。「もうひとりの俺」っていうのは尊敬する矢沢永吉さんの曲からとりました(笑)。

反省会で聞いた熱い言葉を思い出していました。そして、その姿に「頑張れ」と声を掛けるのがやっとなりました。集落の人もそれぞれの思いを込め、「ソラヤレ」と囁きまします。鬼が打たないと祭りが終わってしまうことを皆が知っているから、鬼は命懸けで鬼を打ち、集落の人も必死に支えるのだと思えます。

立派に役目を果たした鬼打ち達がお互いに泣きながら「ありがとう」と言う姿に僕も貰い泣きしていました。その時地元の人々の祭りや鬼に対する熱い思いに自分も気付けた様に思いました。佐渡の祭りは何千何万と人が来るような大きい祭りではありませんが、集落のみんなが、その日を楽しみにしお互いに支え合っている、あつたかい祭りなんです。僕はそんな祭りや鬼が大好きなんです。



この度、新たな実地研修の二環として、研修生三年生より渡辺健吾を十二月の「交流公演」へ同行させることとなりました。準メンバーへの選考に直接関連するものではなく、研修生に実践的な研修機会を与え、その成長に寄与することを目的としたものです。



2年生の4月、研修所の地元・柿野浦集落の祭り



名前	生年月日	出身地
1.	研修所に来る前、何をしていたか	
2.	特技と苦手	
3.	研修所における自分(の役割、役どころ)	
4.	佐渡で見つけた宝物	
5.	自己紹介	

小池将也 (こいけ まさや)

1993年4月22日 神奈川県横浜市

1. 高校を卒業して1年間、昼間はデリバリー、夜は飲食店で働いていました。
2. 特技=バイクの運転 苦手=車の運転
3. ムードメーカー、なんちゃって。でも笑うことが大好きで、毎日みんなに笑顔を届けています。
4. 同期、先輩方、地元の方たちとの出会い、佐渡の自然。どれも大事な宝物ですが、佐渡に来て見つけたのは、地元の家族、仲間、支えてくれる全ての方の大切さに改めて気づけたこと。
5. 高校を卒業し、春を迎え、ずっと続けてきた和太鼓で世界中を笑顔いっぱいになりたいと思うようになりました。同時に憧れであった鼓童に行くことも決めました。来る前は親にたくさん迷惑かけてきたし、来てからも、わがまま言ってばかりです。けれど研修所では太鼓以外にも、自分で起きる、掃除、洗濯、料理など、人として生きていくために必要な土台を学び、太鼓や仲間や自然に囲まれながら成長していると実感できます。自分はまだまだではありますが、研修所を、佐渡を、日本を、世界を、鼓童の一員として笑顔でいっぱいしてみせます!!

高倉龍和 (たかくら りゅうわ)

1993年6月1日 東京都町田市

1. 太鼓が大好きな高校生
2. 特技=整理整頓、リズムの即興 苦手=きれいな字、柔軟
3. 新入り!!
4. 生活を共にする同期と2年生
5. 現2年生と同時に入所しましたが、手首の故障が原因で手術をし、1年生と合流する形で先月復帰しました。まだ完治には至っていないのですが、その分、太鼓以外の様々な事に集中して取り組んでいます。まだまだまだまだ諦められません。もう1年、ハッキリしていきます、よろしくお願ひします。

寺本豊 (てらもと ゆたか)

1988年1月7日 大阪府富田林市

1. 大阪で立ち飲み屋の社員。又はユニバーサル・スタジオ・ジャパンのアトラクションのお兄さん。
2. 特技=魚さばきと掃除と生活用品の修理 苦手=リズムと音程を取ること
3. 食材管理係と田んぼ係を兼任し、研修生の食を支えています
4. 大自然と新しい自分。そして同期の仲間。
5. 大阪よりやって来ました。25歳のユタカです。17歳の夏に太鼓と出会い、20歳の秋に鼓童と出会い、25歳にして晴れて研修生となりました。大阪での生活と研修所に来てからの生活は全く異なり、なんと半年で14kgも体重が減りました。他の研修生からは大丈夫? と聞かれますが、日々元気です!! 悩む事も多いですが、自分自身と向き合い、メンバーになる事を夢見、充実した日々を送っています。これからもこの環境に感謝し、一日一日を大切に学んで行きます。

赤澤京 (あかざわ みさと)

1994年5月3日 新潟県新潟市

1. 高校生でした
2. 特技=ホラ貝、唄うこと、稲刈り
苦手=リーダーシップをとること
3. 畑・衛生係、洗濯お姉さん、研修所のコシヒカリ
4. 祭りでお世話になった方々。毎日一緒に暮らしている家族みたいな31期・32期。運が良いと見れる流れ星☆。宝物ではないですが印象深いもの、大量のカメムシ。
5. 初めまして。唄うことが大好きなミサトです！ 私は佐渡に来てステキな出会いが沢山ありました。まず、佐渡の人々の温かさです。いつも家族のように優しく迎えてくださいます。次に沢山のきれいな景色です。四季折々の風景が楽しめ、いつも感動。自然の持つ力はすごいと実感しました。そして最後に命との出会いです。目指せ自給自足生活！ の私達は沢山の命と向き合います。ここへ来て「いただきます」の大切さを学びました。これからも輝く命に感謝しながら毎日を過ごして行きたいです。不器用な私ですが、いつも応援して下さいる方々に恩返しできよう、頑張ります！

石月遥 (いしづき よう)

1995年2月27日 佐渡の姉妹都市・埼玉県入間市

1. 魚屋さんでバイトをしていました！「ご利用～ご利用～!!」
2. 特技=特技の種は沢山いただきました。しっかりゆっくり育てていきたいと思います。
苦手=バチ作り(太鼓打ちとして致命的です…)
3. みんなの飲み物つくります
4. 流れ星を出し惜しみしない夜空。毎日姿を変える海。季節の変化を教えてくれる山々。離れて気づいた母の優しさ。
5. 研修所に来て自分の弱さを知り、自分のダメな所、嫌な所が沢山見えてきます。今まで高校で部活でと、それから逃げていましたが、研修生活で一つ一つ向き合い、沢山の人の助けをもらって強い自分になると奮起しています。大変な事もあり、たまに逃げ出したいくなる佐渡島。しかし優しい人々、あり過ぎる自然、おいしいごはん。その中には、ここに来る前までは当たり前と思っていた事もありました。ふと辛くなる時思うのは、今ここにいる自分はずごく贅沢な事をさせてもらっていると。沢山の事、物、人に感謝できる人に、そして不器用な自分に向き合い、強くたくましいカッコイイ男になるぞ!!



大塚勇渡 (おおつか はやと)

1995年3月5日 千葉県

1. 高校生
2. 特技=ニヤニヤしてしまうこと
苦手=カメムシの向こう側、強烈な香り
3. 青いバーナー
4. たくさんの方々、モノとの出会い
5. 自分と、太鼓と、とことん向き合いたいという想いを持って、私は研修所に来ました。ですが、当初そこには今までと何も変わらない自分の姿がありました。研修所という場は、良い環境にあります。しかし、そこで何かを掴もうとする意志がないと、「鼓童の研修生」で有り続けられませんか。もうすぐ一年が終わります。もう、後悔はしたくありません。だから、「今」に自分の全てを注ぎます。感謝を忘れずに、最後まで突き進みます！

北林玲央 (きたばやし れお)

1994年6月29日 神奈川県横浜市

1. 太鼓とバイトと遊びと遊びと遊びに明け暮れていた高校生
2. 特技=球技 苦手=柔軟
3. 喜怒哀楽が激しくて、皆を引っ張り回しちゃう人
4. 地元で自分を心から応援してくれている人たちの気持ち。ここに来て、それが宝物だという事に気づきました。
5. 日々、太鼓と向き合い、人と向き合い、自分と向き合い、自分の弱さを知り、その中でも自分で成長を感じることができ、充実した研修生活を送っています。楽しい事が大好きで、皆にウザがられる程はしゃいでしまう時もあります。その逆で、テンションが低い時はひと言もしゃべりません(笑)。この間、9歳になった妹が自慢できるような、かっこいい人になれるようにこれからもガツガツ太鼓叩いていきます!!



神白佑樹 (かじろ ゆうき)

1993年2月8日 福島県いわき市

1. 工場でアルバイトをしていました
2. 特技=エイサー、布団に入ったらすぐ寝られること
苦手=朝、汁物の味付け
3. 田んぼリーダー
4. トレーニング中、坂を下っている時に見える景色が最高です!!
5. 和太鼓、エイサー、じゃんがら念仏踊り…とにかく太鼓が大好きです。太鼓が大好きでプロへの道をあきらめきれず、研修所に来ました。ここに来るために送り出してくれた家族、今支えてくれている人に、とても感謝しています。もっともっと稽古して、もっともっとデカイ音を響かせられるように頑張ります!!

池永レオ遼太郎 (いけなが れお りょうたろう)

1990年11月1日 アメリカ ミシガン州→ニューヨーク州→東京

1. 全てにおいて研修所と真逆の世界でのうのうと生きていました
2. 特技=絶対音感 苦手=トマト、自分
3. 変人、鬼剣舞リーダー
4. それはそれは多すぎて…
5. アメリカ出身、23歳です。好き嫌いも多く、わがままでマイペースな未熟者です。少しは変わったのでしょうか。自分を客観的に観られる様に、もう一つ成長したいところです。まだまだ、僕は変われる。一瞬一瞬をもっともっと大切に。

三浦友恵 (みうら ともえ)

1990年1月20日 熊本県下益城郡美里町

1. 父と一緒に“測量”をしていました。
2. 特技=書道
苦手=人前で話すこと(研修所で克服したいです。)
3. 農協係、柿作業係、長女的役割
4. 佐渡で出会った人々、佐渡で学んだこと、日々の景色
5. 研修所に来て約8ヶ月。つらいこと、苦しいこと、楽しいこと、嬉しいこと、色々なことがありました。そんな時間を過ごせたのも、研修所に来ることを許してくれた両親、祖父母、姉、知人のおかげです。感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。佐渡でも、名前のとおり、友に恵まれ生活しています。
「じいちゃん、ばあちゃん、友は元気にしとるバイ!!」

米山水木 (よねやま みずき)

1994年6月23日 東京都

1. 都会の女子高生で、芸術高校に通い、演劇や日本舞踊等々学んでました。小さい頃から太鼓を始め、何ととっても私の家族は三宅太鼓が大好きで、休みの日は毎週家族でFamily練習してました。
2. 特技=打ち込み、三宅の股割、食べ物をおいしそうに完食する
苦手=虫(だんだんと慣れてきました)、人前でしゃべること、細かい作業
3. 畑と楽器係をしています。収穫した時の喜びはサイコーです! 力持ち(一畳を数枚重ねて運べます。縮太鼓を2個ずつ持てます。)男性に負けない打ち込み!
4. 鬼太鼓の師匠(大石明秀さん)、もう一つの家族(31期・32期)
5. この研修所に来て、自分を耕してくれる多くの人達との出会いにとっても感謝しています。それは、講師の方や集落の方々、地域との交流、そしてもう一つの家族「32期」。私は小さい頃から地元で太鼓をやり、プロの太鼓打ちになるのが夢で、両親や師匠等々多くの方に支えられてきました。今はまだ、細くて暗い一本道に立っている自分がいて、たまに、「自分はしっかりとレールの上を走っているのか?」と考えることがあります。とにかく今は毎日の舞台(稽古・作業・生活)を32期でぶつかり合って、一日一日を大切に、もっと大きな家族・仲間になりたいです。そして早く、今の自分を越えたもう一人の自分に会いたいです。

澳本幸生 (おくもと こうしょう)

1994年4月26日 高知県黒潮市

1. 部活動でサッカーをしていました。高知ベストイレブンにも!! そして何ととってもバイク! バイクをいじりたおしていました!!
2. 特技=手先が器用で細かいことが好き(バイクいじり・塗装)
苦手=走ること
3. マイペース屋
4. 家族愛
5. バイク大好き! はやくバイクに乗りたい~!! そんなことを毎日思っております幸生です。ここでもっと大きな男になる。何でもできる男になる。日々稽古です。こじやんとでかい男になるけんにか!!



鼓童の海外ツアー情報
On Tour Now
in Canada & USA



鼓童情報発信リニューアルのお知らせ

色鮮やかに、タイムリーに。
鼓童の情報、形いろいろ。

ここ数年の間に通信環境が飛躍的に向上し、携帯端末やパソコンなどで様々な情報や映像、サービスが手軽に得られるようになり、世代を問わずインターネットの利用が増えています。こうした状況に伴って、鼓童の公演をはじめとした様々な情報提供やサービスもデジタルメディアでのご要望が増えてまいりました。一方、鼓童グループの活動もますます多岐にわたって活発になり、情報量も増えています。

こうした状況に対応して、鼓童ではデジタルサービスを活用し、タイムリーな情報提供の仕組みを整えています。今年六月には鼓童ウェブサイトをリニューアル。フェイスブックは既存の英語版に続き、日本語版を開設しました。また「鼓童ウェブログ」も年内にリニューアル予定。さらに来年二月よりアドレス登録制のメール配信も準備しています。また、これまで電子文書形式で毎月ダウンロード配信していた英語版ニュースレター「Kodo eNews」を今年で終了し、今後はメール配信サービスやブログでの情報掲載に移行してまいります。

一九八二年の創刊以来、三二年間発行している機関誌「月刊鼓童」はこのたび、来る新年号（二月一日発行）より内容を部リニューアルしてお届けすることになりました。

これまでカラー号は年一回発行でしたが、来年より毎月カラーでお届けします。特集号は二〇ページ構成で年四回、通常号は八ページ構成で年七回となります。鼓童メンバーの素顔や活動の背景を、今後も様々な企画でお伝えしてまいります。

印刷物ならではの手に取る読みやすさと温かさで、ビジュアルも豊富に取り入れ、舞台は劇場の雰囲気そのままに、佐渡は四季折々の表情までお楽しみいただけるよう、二層充実にとめます。また情報不足のないよう会員特典などのサービスはきめ細かく確実にお届けしてまいります。

それぞれのメディアの特徴とサービスを活かし、鼓童の多彩な活動を随時、幅広くお伝えします。会員の皆様にもぜひご利用いただきたいと思えます。来年も引き続きよろしくお願いいたします。



KODŌ 公演情報

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(11月29日現在)

鼓童ワン・アース・ツアー2013 ～神秘

12/13 (金) 新潟県上越市

上越文化会館 大ホール
「直江津駅前通」バス停①番か②番から
乗車「市役所前」下車、徒歩0分
18:00開場 18:30開演
S席6,000円 A席5,000円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) 上越直江津ライオンズクラブ事務局
Tel. 025-525-1185

12/14 (土) 完売

新潟県長岡市
長岡市立劇場大ホール
18:00開場 18:30開演
S席6,000円 A席5,000円 指
未就学児の入場は不可 託
問) 長岡市芸術文化振興財団事業課
Tel. 0258-29-7715

12/15 (日) 新潟市 完売

新潟県民会館大ホール
18:00開場 18:30開演
S席6,000円 A席5,000円 指
未就学児の入場は不可 託
問) 新潟県民会館
Tel. 025-228-4481

12/18 (水) 神奈川県横浜市

KAAT 神奈川芸術劇場ホール
みなとみらい線「日本大通り」駅徒歩5分、JR・市営地下鉄「関内」駅徒歩15分
18:00開場 18:30開演
6,000円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) tvkチケットカウンター
Tel. 0570-00-3117

12/20 (金) -23 (月・祝)

東京都文京区
文京シビックホール 大ホール
東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅、都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅より直結
20日 18:30開場 19:00開演
21～23日 13:30開場 14:00開演
S席7,000円(1階全席、2階13列まで)
A席5,000円(2階14列以降) 指
学生券(S席A席共通)3,000円
未就学児の入場は不可

各日程とも残席わずかです。
問) tvk チケットカウンター
Tel. 0570-00-3117

12/24 (火) 東京都文京区

文京シビックホール 大ホール
13:15開場 14:00開演
S席7,000円(1階全席、2階13列まで)
A席5,000円(2階14列以降) 指
<クラブツーリズム貸切公演>
クラブツーリズムの会員以外の方でもご
入場いただけます。
未就学児の入場は不可
問) クラブツーリズム Tel. 03-5323-6799

鼓童交流公演

出演:船橋裕一郎、石塚充、中込健太、
前田剛史、立石雷、福島雅仁、ほか

12/14 (土) 岩手県奥州市

前沢ふれあいセンター ホール
JR 東北本線「前沢」駅西口より北へ
徒歩約5分
13:30開場 14:00開演
前 一般2,000円、学生(小学生～高
校生)1,000円
当 一般2,300円、学生(小学生～高
校生)1,200円
自 未就学児の入場はご遠慮ください。
チケット発売中
問) 前沢ふれあいセンター
Tel. 0197-56-7100

12/18 (水), 19 (木)

東京都国立市
鼓童 親子コンサート
くにたち市民芸術小ホール
JR「国立」駅南口バス乗場4番より
立川バス、矢川駅、国立操車場、又
は国立泉団地行き「市民芸術小ホール・
総合体育館前」下車。JR「矢川」駅、
「谷保」駅より徒歩10分
18日(水) 15:00開場 15:30開演
19日(木) 16:30開場 17:00開演
おとな2,000円、こども1,000円(4歳
以上中学生まで) 自 3歳以下のお子
様の入場はご遠慮ください。
チケット発売中
問) くにたち市民芸術小ホール
Tel. 042-574-1515
同時開催 太鼓 WS
18日(水) 講師:石塚 充
基礎打ち講座①
～しなやかに、そして力強く～

19日(木) 講師:中込 健太
基礎打ち講座②

～大きな音を、大きな振りで～
両日とも 時間 19:00～20:30(90分)
各5,000円(税込) 定員各20名
5年生以上。和太鼓経験者に限る。
定員に達し次第受付を終了します。
問・申込) くにたち市民芸術小ホール
Tel. 042-574-1515

12/22 (日) 茨城県大子町

大子町文化福祉会館「まいん」文化ホ
ール
14:30開場 15:00開演
一般2,500円、高校生以下2,000円
当日各500円増し 自
3才児以下の入場はご遠慮ください。
チケット発売中
問) 大子町教育委員会生涯学習課
Tel. 0295-72-1148

小島千絵子トーク&ライブ ～紅の寿～

12/23 (月・祝) 東京都文京区

文京シビックホール 大ホール
17:30開場 18:00開演
鼓童の会会員1,500円 一般2,000円
高校生以下無料 自
未就学のお子様もご入場できます。
問) 鼓童チケットサービス
Tel. 0259-86-2330 (月～金/9:30～
17:00)

2014年

鼓童ワン・アース・ツアー2014 ～伝説 ヨーロッパ

1/29 (水) イタリア、ローマ
Auditorium Parco della Musica -
Sala Santa Cecilia

1/31 (金) -2/2 (日)
イタリア、ミラノ
Triennale - Teatro dell'Arte

2/7 (金) -2/12 (水)
(10日は休演) フランス、パリ
Théâtre du Châtelet

2/15 (土) イギリス、プール
Lighthouse

(11月29日現在)

2/17 (月) イギリス、バーミンガム
Symphony Hall

2/19 (水) イギリス、リヴァプール
Philharmonic Hall

2/20 (木) イギリス、マンチェスター
The Bridgewater Hall

2/22 (土), **23** (日)
アイルランド、ダブリン
National Concert Hall

2/25 (火) イギリス、ゲーツヘッド
Sage Gateshead

2/28 (金) イギリス、ブライトン
Brighton Dome

3/3 (月), **3/4** (火)
ドイツ、ミュンヘン
Philharmonie im Gasteig

3/5 (水) ドイツ、ベルリン
Berliner Philharmonie

3/9 (日) ドイツ、シュトゥットガルト
Liederhalle - Stuttgart / Hegel-Saal

3/11 (火) ドイツ、フランクフルト
Alte Oper Frankfurt Konzert- u.
Kongresszentrum GmbH

3/15 (土) ドイツ、ハノーファー
Kuppelsaal Hannover Congress
Centrum

3/17 (月) オランダ、フローニンゲン
De Oosterpoort

3/19 (水) オランダ、ハーグ
Dr Anton Phillipszaal

3/22 (土) スウェーデン、ウプサラ
Uppsala Konsert & Kongress

3/24 (月) エストニア、タリン
Nokia Concert Hall

3/26 (水) フィンランド、ヘルシンキ

3/31 (月) ロシア、モスクワ
Crocus City Hall

～春夏秋冬～
千絵子流女打ち講座 冬

1/26 (日) 東京都目黒区
太鼓の里 響和館
1) 基礎・入門編 11:00～13:30 (150分)
初心者、初級者対象。定員10名
7,875円(税込)
2) 基礎・ステップアップ編
15:00～18:00 (180分)
経験者対象。定員10名
9,450円(税込)
持ち物など: 履物持参(着物足袋又は、
靴下など)。使用パチ 長さ400mm×太
さ22mm(響和館で販売中)。着物での
練習も可能です。
問) 太鼓の里 響和館
Tel. 03-3714-2774

藤本吉利 太鼓合宿 in うと

2/6 (木) - **8** (土) 熊本県宇土市
宇土市民会館
講師: 藤本吉利
30,000円(宿泊費、パチ代込み)
問) 宇土市民会館「太鼓合宿」係
Tel. 0964-22-0188

鼓童ワン・アース・ツアー2014
～神秘 5～7月

5/10 (土) 鹿児島県鹿児島市
宝山ホール(鹿児島県文化センター)

5/11 (日) 宮崎県日向市
日向市文化交流センター

5/13 (火) 福岡県福岡市
福岡シンフォニーホール

5/15 (木) 長崎県壱岐市
壱岐文化ホール

5/21 (水) 香川県高松市
サンポートホール高松

5/23 (金) 愛媛県宇和島市
南予文化会館

5/24 (土) 愛媛県松山市
松山市民会館大ホール

5/30 (金) - **6/1** (日)
京都府京都市 京都四條 南座

6/4 (水) 京都府綾部市
中丹文化会館

6/6 (金) 長野県長野市
ホク外文化ホール・大ホール

6/7 (土) 新潟県柏崎市
柏崎市文化会館アルフォーレ

6/9 (月) 新潟県魚沼市
小出郷文化会館

6/11 (水) 茨城県牛久市
牛久市中央生涯学習センター文化ホール

6/13 (金) 埼玉県越谷市
サンシティホール

6/14 (土) 神奈川県茅ヶ崎市
茅ヶ崎市民文化会館

6/15 (日) 千葉県東金市
東金文化会館

6/21 (土) - **25** (水)
東京都台東区 浅草公会堂

6/27 (金) 東京都小平市
小平市民文化会館 ルネこだいら


6/28 (土) 東京都狛江市
狛江エコルマホール

6/29 (日) 埼玉県熊谷市
熊谷文化創造館さくらめいと

7/18 (金) 大阪府摂津市
摂津市民文化ホール(予定)

7/19 (土) 滋賀県近江八幡市
近江八幡市文化会館(予定)

鼓童の会
チケット先行予約のご案内
5～7月の公演詳細、先行予約に
ついては新年号でご案内いたしま
す。チケット発売日と先行予約日程
が前後する可能性があります。実施
可能な公演地
については会
員様分を確保
しております。



2014 春 — 鼓童佐渡特別公演

鼓童の前身「佐渡の國鬼太鼓座」から現在まで、鼓童の礎を築いた鼓童名誉団員を中心に、芝居小屋の趣を残す「宿根木公会堂」で味わう珠玉の舞台。3年目の春を迎える今回、見留知弘が初めて加わり、更にパワーアップした舞台をお楽しみください。

※公演を含む宿泊・観光ツアーなどの詳細は2月初旬に決まる予定です。ツアーに関するお問い合わせは佐渡太鼓体験交流館(Tel. 0259-86-2320)へ。

鼓童 佐渡特別公演 2014 — 春 —

日程：4月27日(日)～5月6日(火・振休)全9回公演 上演時間は約1時間

開演時間	4月			5月			
	27日 (日)	28日 (月)	29日 (火・祝)	3日 (土・祝)	4日 (日・祝)	5日 (月・祝)	6日 (火・振休)
11:00	○		○		○	○	○
15:00		○		○	○	○	

会場：宿根木公会堂(佐渡・小木地区)

出演：藤本吉利、小島千絵子、山口幹文、齊藤栄一、見留知弘ほか
 料金：大人3,500円、子ども(4歳～小学生) 1,500円(当日各300円増)
 鼓童の会会員割引あり。3/1 (土)より発売予定。
 チケット取扱：鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330
 問：鼓童文化財団 Tel. 0259-81-4100

ソロ・小編成公演・交流公演・ワークショップ

大太鼓を楽しく叩くワークショップ(神戸市)
 藤本吉利が講師を務めます。初心者の方(大太鼓初めての方)もお気軽にご参加ください！

ぶんきょう交流公演とワークショップ(東京都文京区)

文京シビックホールで親子で楽しむ太鼓ワークショップとぶんきょう交流公演を小ホールで同日開催します。いつもよりグッ

と近くで鼓童を体感しませんか。

祭音 - MATSURINE - 2014 (東京都港区)
 来年3月、草月ホールにて開催される「祭音」に鼓童特別編成で出演します。ご期待ください。

山口幹文「一管風月」(千葉県山武市)
 昨年、「風の彩 一管の綾 其の四」コンサートや篠田講座の会場としてもお世話に

なった、成東文化会館のぎくプラザ。「もつと、気軽に音楽を楽しんでいただきたい」というコンセプトから始まったサロンコンサートに、来年5月、「山口幹文 一管風月」をお呼びいただきました。EC特別フリンジ「一管風月」でもお馴染みの野上結美さん(ピアノ)、歌を迎えての、真笛とピアノの共演をどうぞお楽しみください。

ソロ・小編成公演・交流公演・ワークショップ

大太鼓を楽しく叩くワークショップ

日時：2014年2月23日(日) 1回目10:00～12:30、2回目14:00～16:30
 会場：ホッと太鼓スタジオ(神戸市中央区元町高架通3番306)
 講師：藤本吉利 参加費：5,000円 定員：12名
 申込・問：和太鼓集団 ホッと太鼓・辻 均(つじひとし)
 Tel. 080-3777-3817 Email: hitoshi2@jyuhan.com

ぶんきょう交流公演

日時：2014年3月21日(金・祝) 15:00開演
 場所：文京シビックホール 小ホール
 料金：2,000円(税込)全席指定 ※5歳から入場いただけます。小学3年生までは、保護者の方の同伴が必要です。

チケット取扱い：シビックチケット Tel. 03-5803-1111 (10:00～19:00 土・日・祝休日も受付。ただし12/28～1/4は休業)
 問：文京アカデミー ホール事業係 Tel. 03-5803-1103 (平日9:00～17:00)

交流公演と同時開催 親子で楽しむ太鼓ワークショップ

日時：2014年3月21日(金・祝) 13:15～14:00
 場所：文京シビックホール 小ホール 参加費：無料
 対象：文京区在住・在勤・在学の「ぶんきょう交流公演」のチケットをご購入の親子(5歳以上中学生以下のお子様(複数名可)とその保護者1名) 応募方法詳細は鼓童ホームページに掲載しています。または下記へお問い合わせください。
 問：文京アカデミー ホール事業係 Tel. 03-5803-1103 (平日9:00～17:00)

祭音 - MATSURINE - 2014

日時：2014年3月23日(日) 17:30開場 18:00開演 会場：草月ホール
 出演：三宅島芸能同志会 ゲスト出演：鼓童(特別編成)
 料金：5,800円(税込)全席指定※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 チケット取扱い：e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>
 問：小林 Tel. 080-6818-8928

山口幹文「一管風月」

日時：2014年5月16日(金) 18:30開場 19:00開演
 場所：成東文化会館のぎくプラザ エントランスホール(千葉県山武市)
 出演：山口幹文(鼓童/真笛)、野上結美(ピアノ・歌)
 料金：1,000円 全席自由 4/18 (金)よりチケット発売予定
 主催：山武市成東文化会館のぎくプラザ Tel. 0475-82-5222

限定販売

鼓童×信三郎帆布

鱗文様バッグ



鼓童×信三郎帆布コラボバッグ「鱗文様」

京都・東山の名店「一澤信三郎帆布」と鼓童の
コラボレーションバッグの登場です。長年愛用
いただける堅牢で軽量の帆布の手さげ。お財布
や携帯など、ちよつとした小物を入れて持ち歩く
のに便利なサイズです。

この「鱗文様」と内ポケットの「鼓童ロゴ」の組
み合わせは鼓童オリジナル。鼓童のツアー会場・
鼓童オンラインストア（メールオーダー）のみで
の数量限定販売です。お早めにお買い求めくだ
さい。（この後の生産は未定です。）

「鼓童オンラインストア」年末年始営業のご案内

12月26日（木）～1月9日（木）の間、「商品
の発送」「配達希望日指定」「お問い合わせの対応」
などができません。ご不便をお掛けいたします
が、何卒ご了承ください。

鼓童グッズ

鼓童×信三郎帆布コラボバッグ「鱗文様」

帆布製 サイズ：たて17cm × よこ上26cm・下15cm
× マチ12cm

柄：鱗文様 柄の色：シルバー

内ポケット「鼓童ロゴ」プリント色：シルバー

価格：8,000円 鼓童の会会員価格：7,200円

発売中

鼓童Tシャツ ～神秘

シャツ色：ブラック／ネイビー プリント色：抜染プリント

素材：綿24%、ポリエステル38%、レーヨン38%

サイズ：XS、S、M、L、XL

価格：3,000円 鼓童の会会員価格：2,700円

発売中

鼓童カレンダー2014

モノクロ16ページ

価格：1,200円 鼓童の会会員価格：1,000円

好評発売中。12月のツアー会場でもお求めになります。

価格はすべて税込です。お求めは便利な「鼓童オンラ
インストア」で。http://kodo.or.jp/store/

鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
Tel. 0259-86-3630（販売部）

小島千絵子トーク&ライブ
「紅の寿」

申込受付は、12月13日（金）でいったん締め切
らせていただきます。12月16日（月）以降は、鼓
童チケットサービスまでお電話やEメールな
どでお問い合わせください。お席には余裕が
ございます。また、当日券も同額で販売の予定
です。（Tel. 0259-86-3330 / Email: ticket@
kodo.or.jp）

多数のゲストをお招きします

ゲスト：永六輔、伊藤多喜雄、木村俊介、金城光
枝、内藤哲郎、西野貴人

鼓童：藤本吉利、藤本容子、山口幹文、齊藤栄
一、宮崎正美ほか

※出演者は都合により変更になることがあり
ます。

訂正とお詫び

先月号の13ページで紹介した「奈奈子奈
を観るJTBツアーのご案内」の中で、末尾に
記載した問い合わせ先電話番号が間違ってい
ました。ご迷惑をおかけし申し訳ありません
でした。訂正してお詫びいたします。

訂正

JTBツアーお問い合わせ先
JTBコーポレートセールス
電話番号

誤：03-8737-9410

↓
正：03-6737-9410

鼓童の会 会員限定プレゼント



「研修所米」（研修所で収穫したお
米）2キロを5名様にプレゼントし
ます。研修生が春から心を込めて
育てた無農薬・有機栽培のお米をご
賞味ください。ご応募お待ちしております。

鼓童の会会員限定 プレゼント

申込方法：会員番号、お名前、ご住所、電話番号、
研修生や鼓童メンバーへのメッセージをお書き添
えの上、Eメール、ファクス、お葉書などでお申し込
みください。12月25日（水）締切。新年1月の発送
をもって当選の発表にかえさせていただきます。
宛先：〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田
148-1 鼓童の会「研修所米」プレゼント係
Fax. 0259-86-3631 Email: friends@kodo.or.jp

鼓童事務局年末年始のお休み

鼓童事務局および、佐渡太鼓体験交流館（た
たこう館）は、12月26日（木）から1月9日（木）
までお休みさせていただきます。皆様にはご
迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください
ますようお願いいたします。次号の月刊「鼓
童」は2月1日発行予定です。



◎「祭音」チラシ



鼓童ワン・アース・ツアー 2013～神秘 (写真:岡本隆史)

◆WOWOW 「新春特別企画 坂東玉三郎の『美』」放映◆

2014年元旦、坂東玉三郎さん特集した特別番組が放映されます。

番組は三部構成で、第二部では昨年11月に鼓童も出演させていただいた金丸座「坂東玉三郎特別公演」、

第三部では今年10月に開催された「アマテラス」南座公演の様子がご覧になれます。

WOWOW「新春特別企画 坂東玉三郎の『美』」

日時:2014年1月1日(水)13:00～

放送局:WOWOWライブ

※時間帯、日程などは予告なく変更になる場合があります。
 どうぞご了承ください。

第一部/13:00～ 坂東玉三郎の宇宙 PART 1
 「京鹿子娘道成寺」「楊貴妃」

第二部/14:40～ 坂東玉三郎の宇宙 PART 2
 金丸座「雪」「鐘ヶ岬」「いぶき」

第三部/16:30～ 坂東玉三郎×鼓童「アマテラス」

鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp>

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。

Tel. 0259-86-3630 (代) / Fax. 0259-86-3631

Email: heartbeat@kodo.or.jp

▼編集部の洲崎純子です。二〇一三年もいよいよ残すところ僅かとなりました。全国各地の公演でたくさんの方々にご来場と応援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、本年最後の編集、後記となりましたが、私事で大変恐縮です。今年十二月末をもちまして北前船を退職することになりました。広報宣伝部長と編集長を西田太郎へ、実務を上田恵里花を中心に現スタッフへ引き継いでまいります。

二〇〇〇年から十四年間携わったこの機関誌。毎月末、入稿寸前まで格闘する編集騒ぎは事務所名物ですが、読者の皆様の叱咤激励と、東奔西走の中で「生懸命に原稿を送ってくれろメンバー」、発送を手がけるスタッフと研修生に支えられてきました。鼓童創設から続くこの営みがなければ、三〇周年記念誌「いのちもやして、たたけよ。」を編集することは困難でした。私も鼓童の過去から未来へと、バトンを繋ぐランナーのひとりになったかな。私なりに全力で走った区間も時が経つて懐かしい歴史の「コマ」になったらいいなと思っています。

実は私、少々体調を崩しまして半年程前よりスタッフワークを離れておりました。簡単に言えば、ガソリン、バッテリー切れ寸前の車状態といましようか。これまでのメンテナンス不良を改めなければと強く自覚し、心身を修理(Repair)で元に戻すのではなく、再生(Reborn)の道を歩む決心をしました。

新たな年からは、相方を支えながら佐渡で暮らし、四季の移ろいを楽しみながらマイペースで何か始めてみようと思います。まずは機関誌の経験を活かして、家族のささやかな歴史を書き記すことを始めました。そこから派生して高齢者のことや昭和の歴史、福祉などへと興味は広がっています。これからの人生も鼓童との精神的な繋がりを持ちながら、佐渡の方はじめ様々な方々にご縁がますます広がることを願っています。

皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。またいつか、どこかでお目にかかれそうですように。そして皆様も、お体を大切に。(す)